

## 【リデュース】（軽量化・薄肉化）

### ①一本当たりの重量変化

2014年実績として、基準年（2004年）対比で1本当たり1.4%の軽量化がはかられた。

1本当たりの単純平均重量は、基準年（2004年）の192.3gに対し、2014年実績は179.7gと6.6%（12.6g/本）の軽量化がはかられたが、これにはびん容量構成比の変化が含まれているため、その要素を除いたネットの軽量化率は1.4%（2.7g/本の軽量化）となった【表1参照】。

残りの5.2%（9.9g/本）はびん容量構成比の変化によるものである。

なお、基準年（2004年）対比での軽量化による資源節約量は、2009年～2014年（6年間）で、130,721トン（100mlドリンク剤びん換算 12億148万本）となった。

【表1】1本当たりの平均重量推移

	2004年 (基準年)	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
生産本数（千本）	7,262,950	6,653,700	6,771,964	6,875,461	6,610,045	6,539,754	6,447,949
生産重量（トン）	1,396,582	1,213,075	1,222,525	1,230,174	1,182,952	1,180,180	1,158,682
単純平均重量 (g/本)	192.3	182.3	180.5	178.9	179.0	180.5	179.7
ネット軽量化率指標 (加重平均)	100.0	98.2	98.3	98.0	97.9	98.3	98.6
軽量化による 資源節約量(トン)	—	22,236	21,142	25,106	25,375	20,410	16,452

### ②軽量化実績

2014年に新たに軽量化された商品は、9品種23品目であり、軽量化重量は664トンであった。

2006年から2014年までに軽量化された商品は、11品種206品目となった。【表2参照】

なお、軽量化実績の捉え方は、前年と同容量で軽量化された品目について限定しており、容量変更が伴う場合や、新製品の軽量びんは対象外としている。

【表2】2006年から2014年までに軽量化された品目

品 種	のべ品目数
小びんドリンク	小びんドリンク（6品目）
薬びん	細口びん（2品目）、広口びん（2品目）
食料品びん	コーヒー（17品目）、ジャム（10品目）、粉末クリーム（2品目）、蜂蜜（1品目）、食用油（1品目）、食品（6品目）
調味料びん	たれ（7品目）、酢（13品目）、ソース（2品目）、新みりん（1品目）、醤油（2品目）、つゆ（7品目） 調味料（13品目）、ドレッシング（11品目）、ケチャップ（1品目）
牛乳びん	牛乳（5品目）
清酒びん	清酒中小びん（24品目）
ビールびん	ビール（7品目）
ウイスキーびん	ウイスキー（5品目）
焼酎びん	焼酎（17品目）
その他洋雑酒びん	ワイン（20品目）、その他（4品目）
飲料びん	飲料ドリンク（6品目）、飲料水（1品目）、炭酸（3品目） ジュース（6品目）、ラムネ（2品目）、シロップ（1品目）、乳酸（1品目）